



〒520-1121 高島市勝野129-3

TEL 0740-36-2077 FAX 0740-36-0237

http://shimizu-tetsuji.jp



県議会 レポート

2012年1月発行

Q 来年度以降の県の組織体制について

A 知事 琵琶湖環境部と農政水産部が層協力を深め、本部組織を設置し、新たな組織体制で取り組みたいと思います。現場をよく知っている農業職員と林業職員も含めて、二層の知識、技術を高めるよう県としても強化したいと考えます。

Q ハンターの育成や新たな捕獲技術の導入は誰が行うのか

A 琵琶湖環境部長 狩猟者の減少や高齢化で捕獲従事者の減少が進み、狩猟者の確保や育成する必要があります。新たな捕獲技術は、実施方法の検討や情報提供を行い、市町と連携し取り組みたいです。

Q 二ホンジカの生息頭数調査の方法について

A 琵琶湖環境部長 生息頭数は、自然増加率・糞の数の増加率・捕獲数の数値を用いて推定しています。更にオス・メスの比率、親子の比率、死亡率・出生率を加味して計算します。

Q 個体数管理の適正頭数と目標達成のための年間捕獲数について

A 琵琶湖環境部長 自然植生に影響がない密度は平均値で100ha当たり3~5頭以下で、本県の森林面積は20万haなので、約8,000頭が目標です。5年計画の後、平成29年に現状の半減とすることを目標とします。最大推定数で、毎年16,000頭を捕獲しなければなりません。

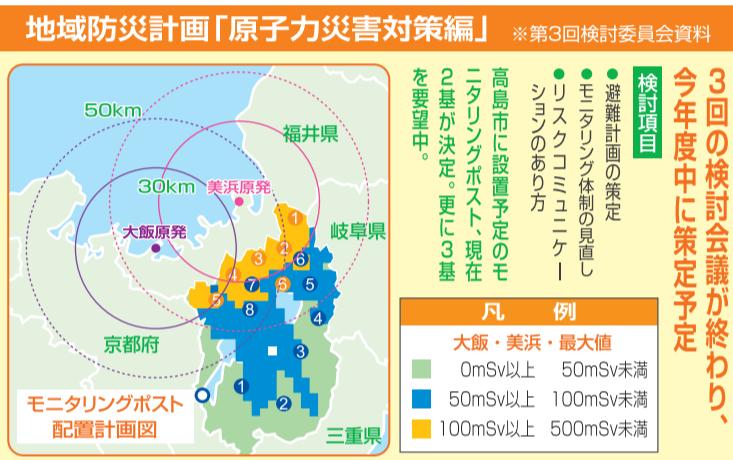
Q ネット上のいじめ対策について

A 教育長 学校だけでは対応しきれない問題に対応するため、平成21年3月に警察との連絡制度を整備し、問題の書き込みの削除、発信者の特定等迅速な解決が図れるよう連携しています。又、PTAや教職員研修会でフィルタリングサービスの利用徹底等の啓発もしていますが、依然として課題であり、適切な対応に努めています。

11月定例県議会
一般質問にたちました

Q 県教委の指導と学校と地域の連携づくりの取り組みについて

A 教育長 子どものSOSを見逃さないよう日常の見守りや個別面談、アンケート調査の実施、更に、教職員に何でも言える雰囲気づくり、子どもとしっかり向き合う、保護者と連絡を取り合ふ等の指導もしています。子どもの健全育成には学校と家庭と地域の連携が重要で、今後一層強化し、いじめ根絶に向けて市町教育委員会と連携しながら取り組んでいきます。



スクールバス

校舎 増設

動物保護センター



高島市に設置予定のモニタリングポスト、現在2基が決定。更に3基を要望中。

平成20年に新築移転。現在、野洲市・栗東市・守山市・近江八幡市・竜王町の児童生徒約300名が在籍。医療ケアをする生徒の対応、スクールバスの改善、高等部卒業後の進路等、山積する課題は数多くあり、教育と福祉がうまく連携できる仕組みづくりに取り組んでいきます。

11/7

野洲養護学校

平成20年に新築移転。

湖南省にあるこのセンターに、年間約1,900頭の大・猫が収容され、そのうちの9割が処分されています。

家族の一員として愛され、最後まで責任をもつて看取る飼い主が増えている一方、まだまだ認識不足からペットを飼育放棄する飼い主がいるのも現状です。そのような悲惨な状況を少しでも改善し、動物愛護および啓発を行うセンターの役割は大きいものです。

11/1・2

県立高等学校再編計画(案)の対象校である学校を訪問。

平成16年に設立された石部高校は、エレベータが完備され、多面的な機能を兼ね備えた構造となっています。新たに福祉コースを作り、三雲養護の分校を併設する計画(案)について、意見交換を行いました。

セラミック科、デザインイン科といった信楽特有の科目を展開している信楽高校は、信楽焼の伝統技術の継承や発展にも大きな役割を担っていました。甲南高校の分校となる計画(案)について、地域の声や生徒たちの反応を踏まえ意見を伺いました。



石部高校

石部高校 校舎内

会派活動報告

11/1・2

現象による甚大な被害を受けた千葉県香取市役所を訪問。滋賀県も同規模の地震が起これば、琵琶湖周辺を中心に大きな被害が予想されます。今回の調査で、国からの支援状況に研修した内容を基に、一刻も早く液状化対策に取り組んでいきます。

